

## ◎気になる記事をご紹介します！

月日・情報媒体	内容・概略	一筆啓上
4月18日 週刊現代	止まらない円 大暴落 1ドル=150円の日本で起きること ・富が海外に流出していく ・世界中に買ったたかれる	露侵攻は日本にも不安大？ “侵攻の 気配だけでも 円売られ”

## ◎注目企業！注目事業！注目商品

4月17日 日本経済新聞	電池の時代 空気から電気、究極電池 ・軽量、空飛ぶクルマの原動力に その名も空気電池	研究は中国・韓国が先行？日本 は？“未来形 電池も酸素 期待大”
-----------------	---	-------------------------------------

## ◎未来予想・予測！

## ◇4月16日 日本経済新聞・朝日新聞 総務省の2021年10月1日時点の人口推計

- ・生産年齢人口 最低59% ・外国人は9年ぶり減少 ・労働力の補完に限界
- ・東京都は26年ぶりに人口が減少した …“繁栄も いつかは枯れる 今大事”

日本の人口が減少する予測は30数年前から出ていましたが、有効な対策は講じられていません。

予測通り、労働力は不足し、機械化は遅れ、外国人労働者の招請は進まず、労働を卒業した高齢者は増加し、多くの人が描いた“安心豊かな社会”は実現していません。日本の社会の課題の一つである人口減少対策は今すぐに必要なものです。人口増加には2つの道があります。

- ① 出生数を増やす→婚姻を増やす→未来を描ける社会にする→政治意識が変わる→国民が気付く
- ② 外国人を増やす→魅力を広める→生活しやすい制度を作る→政治意識が変わる→国民が気付く
- ③

## ◇4月17日 朝日新聞「人も問われる ロボット三原則」アイザック・アシモフ著「I,ROBOT」

- ・第1条：ロボットは人間に危害を加えてはならない。また、その危害を看過することによって、人間に危害を及ぼしてはならない。
- ・第2条：ロボットは人間に与えられた命令に服従しなければならない。ただし、与えられた命令が、第1条に反する場合は、この限りではない。
- ・第3条：ロボットは、前掲第1条および第2条に反する恐れのないかぎり、自己を守らなければならない。
- ・AIが意識を持てば 想定外の領域

現在のロボットは工業用に多く用いられ役立っています。医療や介護用にも普及してきています。これまで見たいくつかのSF映画では、ロボットが三原則を超える意識を持ち人間に反乱するシーンが印象的でした。中国や東大のAIは地球の害は人間と回答したことが忘れられません。気が狂った人間が制御を外せばあっという間に侵攻されます。果たしてロボットの未来は？ “命令の 攻撃せよに 急停止”

発行者：【中央総合事務所グループ】

株式会社中央経営コンサルタンツ&中央会・経営教育センター

文責：庄子 興

所在地：〒160-0022 東京都新宿区新宿六丁目28番8号 ラ・ベルティ新宿9階

☎：03-5155-2858 ファクシ：03-3207-3655 HP：https://central-mc.jp